

# 「震度7」が遺したものの

～阪神・淡路大震災25年～

日程

2020年1月11日(土)～12日(日)

1995年1月17日に発生した兵庫県南部地震。大都市直下を震源とする大地震は、気象庁の震度階級で初めて震度7を記録し、死者6434人にのぼる阪神・淡路大震災を引き起こした。

1年間で130万人を超えるボランティアが被災地にやってきて、「ボランティア元年」といわれた大震災から25年。震度7を記録する大地震は新潟県中越地震、東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)、熊本地震、北海道胆振東部地震と続き、災害ボランティアは地震だけでなく豪雨災害などの被災地でも復旧・復興に欠かせない存在になってきた。

阪神の被災地で生まれた「被災者生活再建支援法」は、二度の改正を経て住宅再建に初めて公費が投じられるようになった。我が国の災害法制に画期を成す法律となったが、支援の対象が限られており、全国知事会を中心に支援の拡大を求める動きが続いている。

災害復興制度研究所が「人間の復興」を研究・活動の理念に掲げて創設されてから2020年で15周年を迎える。復興・減災フォーラムは阪神・淡路大震災が遺したものとして「災害ボランティア」「新たな災害法制」に焦点を当てながら、人間復興の実現に向けて多様な視点から考える。

## 全国被災地交流集会「円卓会議」

## シンポジウム

(敬称略)

2020年 **1月11日(土)**  
13:00～17:30

関西学院会館レセプションホール光の間  
(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

テーマ:「ボランティア元年」 わが事にする

### ●プログラム

- 第一部 地域復興の担い手
- 第二部 多様な支援態勢
- 第三部 総括討議

司会・野呂 雅之(関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員・教授)  
齊藤 容子(関西学院大学災害復興制度研究所指定研究員)

2020年 **1月12日(日)**  
13:00～17:30

関西学院会館レセプションホール  
(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

■基調講演「今に続く1・17」

中川 智子(宝塚市長)

### ■報告

「新たな災害法制に挑む」

野呂 雅之(関西学院大学災害復興制度研究所 主任研究員・教授)

■パネル討論「『人間復興』の実現に向けて」

《パネリスト》(50音順)

石垣 のりこ(参議院議員)

泉田 裕彦(衆議院議員)

金子 由芳(神戸大学教授)

山崎 栄一(関西大学教授)

《コーディネーター》

津久井 進(弁護士)

### 申し込み方法(入場無料)

参加ご希望の方は、QRコードまたは下記URLよりお申し込みください。

<https://forms.gle/DQLfz4tjhVQLR7Lx9>

FAXをご希望の方は、裏面の参加申し込み用紙に必要事項をご記入の上、お申し込みください。



## 関西学院大学 災害復興制度研究所